

小学生・中学生の皆さんへ

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/kuhoujr/arakawakuhojr.html>

あらかわ区報Jr.は
荒川区ホームページで
ご覧になれます



あらかわ区報Jr.

ARAKAWA KUHO JUNIOR

No.171

11.13

2025年[令和7年]

発行: 荒川区 発行部数: 23,000部
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
☎ (3802) 3111

特別
企画

区長 記者の ジュニア 座談会

昨年11月に滝口区長が就任しました。区のリーダーとして、よりよい荒川区になるように、仕組みやルールを作ったり、地域活動の応援や課題の解決をしたりなど、いろいろなことに日々取り組んでいます。今回は、そんな滝口区長を、区内の小学生を代表して6年生のジュニア記者たち8人が訪問。直接会っていろいろなお話をしました。

[問い合わせ]広報課内線2138



本をたくさん
読める街だよね



次は12月に発行する予定です

あらかわ 私たちが思う荒川区

あらかわ
荒川区のここが自慢!

司会 こんにちは。まず、みなさんに質問する前に、滝口区長はどんな小学生だったのか聞いてみましょう。

区長 小学生の時は背が小さくて、背の順ではずっと前でした。足が速くていつもリレーの選手に選ばれていたよ。走り回るのが大好きで、缶蹴りでよく遊んでいましたね。

司会 ありがとうございます。では、みなさん、荒川区の好きなところや自慢できるところを教えてください。

後藤さん ジョイフル三の輪など、昔ながらのお店が並ぶ商店街があるところです。「読書を愛するまち・あらかわ」宣言にあるとおり、「ゆいの森」などの読書を楽しめる環境が整っているところも好きです。

石川さん お祭りが多いところです。毎年、友達と見に行ったり、お神輿を担いだりしています。

谷藤さん 地域のつながりが強くて、みんなで

仲良く協力して暮らしているところです。あと、「味覚の穴場」に荒川区が選ばれたことも自慢で、おいしいものが多いいです。

区長 そう、世界10都市の中に選ばれたね。もんじゃ焼きのような庶民的な食文化があるのも荒川区の特徴だよね。

学校の楽しいところとは?

司会 学校の楽しいところを教えてください。

山田さん 音楽会や学習発表会など、行事がたくさんあるところです。音楽会は、自分の好きな楽器を練習して本番で演奏します。

小林さん 先生や友達と関わり合えるところです。友達とたくさん話したり、先生に教えてもらったりして、「君は一人じゃないよ!」と言われているような気がしてホッとなります。

区長 学校が楽しいことはいいことだね。学校には、自分と合う友達ばかりいるわけではないかもしれないけど、お互いにわかり合おうすることが大事だね。

みんなの心に響くような音楽をつくりたいです。そのためには国語や音楽も一生懸命頑張っています。国語は俳句も勉強するので楽しいです。

神谷さん スポーツが好きなので、将来はスポーツ選手を支える仕事に就きたいです。頑張っているのは学校のマッチング活動で、コルネットを吹いています。人前で自信を持って発表できるように練習しています。

区長 夢があるのはとても素敵なことだね。私は人前で話すことが苦手な子どもでした。でも目標を持って、多くの経験をすることでできることができて人は変わっていけるよ。



意見をしっかり聞いてくれる滝口区長と司会の渡邊校長

今頑張っていることと将来の夢は?

司会 今度は、みなさんが頑張っていることと将来の夢について教えてくれますか。

安藤さん 読書が好きで、学校の図書委員会の活動を頑張っています。将来なりたい職業は保育士です。いとこや兄弟がみんな年下で、小さい子が好きだからです。

小川さん 今、頑張っているのは俳句です。以前、大会で入賞できたのが嬉しかったので、また賞を取りたいです。将来の夢は歌手で、

荒川区に期待することは?

司会 荒川区や滝口区長に期待することはありますか。

安藤さん 街の人とのコミュニティをこれからも大切にしてもらいたいと思います。

小川さん そう思ってくれるのはうれしいな。荒川区の良さのひとつがコミュニティだよね。小川さん あの……滝口区長の特別授業を開いてほしいです!

みんなの心に響くような音楽をつくりたいです。そのためには国語や音楽も一生懸命頑張っています。国語は俳句も勉強するので楽しいです。

神谷さん スポーツが好きなので、将来はスポーツ選手を支える仕事に就きたいです。頑張っているのは学校のマッチング活動で、コルネットを吹いています。人前で自信を持って発表できるように練習しています。

区長 夢があるのはとても素敵なことだね。私は人前で話すことが苦手な子どもでした。でも目標を持って、多くの経験をすることでできることができて人は変わっついけるよ。

神谷さん 近所の人と交流したり、初めて会ったご年配の人とも気軽に話せる雰囲気が続くといいなと思います。

区長 下町らしい文化だよね。そういう雰囲気も大切に残していくたいと思います。

後藤さん 区内は今も自然が多いけれど、もっと自然豊かな街になってほしいですね。

区長 緑に囲まれると気持ちが落ち着くよね。もっと緑を増やすよう頑張ります。荒川区は全国にさまざまな交流都市があるから、そこで自然体験できる機会も作っているんだよ。

石川さん お祭りは地域の人たちと交流できるすごくいい機会なので守り続けてください。

区長 お祭りを通じて世代がつながるよね。私のスローガンは「世代をつなぎ、地域をつなぎ、みんなの力をつなぐ」です。そんなふうにお祭りもつないでいきたいと思います。

小林さん 小さい子が遊べるスペースは増えているけど、私たち小学生がもっと体を動かせる場所もほしいです。

区長 「遊びは子どもの栄養素」といわれるくらい、遊ぶことは勉強と同じくらい大事なんだ。

だから、どんな子も思いきり遊べる環境を整備したいと考えています。たとえば、障がいのある子も遊びやすい「インクルーシブ遊具」を置いた公園も少しずつ増やしているよ。

山田さん 安心して暮らせる街にしてほしいです。災害が起きたときも安心して避難所で生活できるようにしてほしいです。

区長 安心は重要だね。災害はいつ起こるか



緊張の中始まった滝口区長との座談会も終わり、みんなでパチリ!

わからないうから、「自助・共助・公助」という、まず自分の身を守り、町会や地域で助け合い、最後は区がしっかりと守るという考え方を大切にして災害対策をしています。

滝口区長からみんなに伝えたいことは?

司会 最後に、ジュニア記者とあらかわ区報ジュニアを読んでいるみなさんにメッセージをお願いします。

区長 今日はみなさんの率直な気持ちを聞かせてくれてありがとうございました。目標に向かって一生懸命頑張ることはとても大事なので、何事にも全力で打ち込んでください。また、みなさんは荒川区に愛着と誇りを持ってほしいので、これからどんどん区の

魅力を発信していきます。ぜひ、注目してね。みなさんと一緒に住みやすい街にしていきたいと思っています。

司会 滝口区長、みなさん、ありがとうございます。ジュニア記者一同 ありがとうございました。



滝口区長の話を熱心に聞くジュニア記者たち





あらかわく 荒川区ゆかりのデフリンピック①

競技をはじめたきっかけはなんですか？

出場選手を応援しよう！

Q1 選手になって苦労したことは？

Q2 代表選手になった意気込みを！

Q3 区内の小・中学生に一言！

山田瑞恵選手
(卓球)



A1 小さい頃は水泳とダンスをやっていたのですが、中学に水泳部がなくて…母と姉が卓球をやってたので、私もやってみようかなって軽い気持ちで始めました。

A2 試合や練習で全く点が入らないとすぐに落ち込んでいました。でも今はそれを笑顔に変えて、成長につなげられるようになりました。

A3 支えてくれたすべての人へ感謝を込めて、自分のプレーで恩返しできるよう頑張ります！

A4 スポーツは、できる・できないよりも、楽しむ気持ちが一番大切だと思います。

デフリンピック 開催期間
2025年
11月15日(土)～26日(水)

高田裕士選手
(陸上・ハードル)



A1 高校まで野球をしていましたが、肩を怪我してしまい、大学から陸上を始めました。当時は200m・400mでした。

2012年に初めて出た400mハードルの競技会で好成績を残したことから適性を感じ、400m・400mハードル専門となりました。

A2 専用の練習施設がないところです。競技場が使えない場合は道路や坂、階段などでできる範囲で工夫して練習をしています。

A3 荒川区出身なので、東京開催がとても嬉しいです。家族、友人、これまでお世話になつた方々に感謝の気持ちを伝えられるように精一杯努力して大会に臨みます。

A4 興味があればとりあえずやってみる。失敗を恐れず、積極的にチャレンジすることを大事にしてほしいです。応援しています！

翁 孝嘉選手
(ハンドボール)



A1 約2年前、友人に誘われたことがきっかけです。それまで20年間ずっと野球を続けてきました。そこで身につけた投げる力や走る力が、ハンドボールの動きとよく似ていて、「これは面白い！」と感じました。

A2 健常者のチームはプレー中に声を出して連携をとるのに対して、私たち聴覚に障がいのある選手は手話や身ぶりでコミュニケーションをとります。その伝達のスピードに差を感じ、とても苦労しました。

A3 「メダル獲得」というはっきりとした目標に向かって、自分の強みであるフィジカル(体の強さ)、体力、走力をすべて出し切り、チームの勝利に貢献します。

A4 「楽しむこと」が一番大切だと思います。みなさんも、自分の「好き！」という気持ちを大切にして、全力で取り組んでみてください。

デフリンピック豆知識

デフリンピックは「国際的な耳が聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」です。「デフ」とは英語で「耳が聞こえない」という意味です。

Close-up



子ども議会を開催しました

8月26日、区役所5階の議場で、「子ども議会」を開催しました。

「子ども議会」は、子どもの意見を区の施策に反映させ、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりの推進を目的に開催しています。

区立中学校10校の生徒20人が「子ども議員」に選出され、地域のさまざまな課題などについて、区へ提案を行いました。



子ども議会の様子

新あらかわ今昔 ものがたり

千住宿の商売 ~400年続く街並み~



[問合せ] 荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234

甲冑が脱げない 天明7年(1787)5月22日、今南千住、当時の千住小塚原町のとあるお店に大勢の人が押しかけた。買い物じゃないよ。お店を壊しちゃおうという人たちだ。その内の一人が甲冑が置いてあることに気付き、ふざけて甲冑を着て店を壊したんだって。が、いざ脱ごうとしてもこの甲冑がなかなか脱げない。一緒に店を壊してた人や見物人たちの笑い者になったんだってさ。

天明の江戸打ちこわし これは天明の江戸打ちこわしの中で起こった事件。ん？あ、そうなんだ、大河ドラマでやったんだ。じゃあ知ってるかもしれないけど、この事件の数年前から、全国的に不作が続いてお米が不足した。だからお米の値段が上がって、物価も上がった。幕府の対策もよい効果が出ない。困っている人への施しも行われない。それで起こったのが天明の江戸打ちこわしなんだよ。米屋が不当にもうけている、お金持ちが救済をしない、という理由でこれらの店が壊されたんだって。江戸中で。

千住小塚原町のお店 でも何でその店に甲冑なんかあったんだろう？勿論甲冑屋さんじゃないよ。いらないよね。甲冑。実はこの店はお金を貸すのが商売だったんだ。

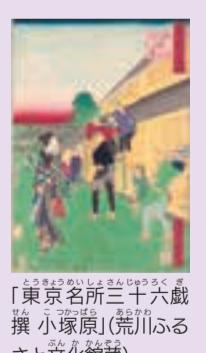
参勤交代の時にお金が足りなくなった大名にお金貸したのかも。お金が返ってこなかつた時の保証に甲冑を預かっていたんじゃないかな。

千住宿には、参勤交代をする大名や松尾芭蕉のような旅人を相手にする商売と、周りのむらに住む人向けのお店が立ち並んでいたんだ。

例えば、さっきのお金貸し。他にも旅籠屋、鶴籠屋、薬屋、八百屋、鰻屋、蛸燭屋…千住宿は今でいう商店街だったんだよ。

江戸時代から続く街並み 千住宿があったのは今このコツ通り。だからここは400年近く街並みが続いている場所なんだよ。残念ながら江戸時代から続くお店はなくなってしまったけれど、

時代から続くお店もなくなりました。江戸時代から続くお店も仕事を続けているお店もある。なんだかすごいね。



【お知らせ】荒川ふるさと文化館企画展「千住宿」
期間:11月30日(日)まで